

## #4 羊の群れの模範となることによって、神にしたがって神の羊の群れを牧養する

(国際長老責任者訓練)2018/12/3-12/9

### I. 神にしたがって神の羊の群れを牧養するとは、神の願いにしたがって神の羊の群れを牧養することです:

I ペテロ 5:2 あなたがたの間の神の群れを牧養しなさい。強いられてではなく、自ら進んで、神にしたがって監督し、卑しい手段で利得を求めることによってではなく、熱心に監督しなさい。

**A.** 神のエコノミーにおける神の心の願い、大いなる喜びとは、生ける水の源泉、源となって、ご自身を彼の選ばれた人々の中へと分与し、彼らの満足また享受となることであるということ、私たちは見なければなりません。この享受の目標は、神の配偶者である召会を生み出すことです。この召会は、神の増し加わり、神の拡大であり、神の豊満となって、神を表現します:

エレミヤ 2:13 まことに、私の民は二つの悪事を犯したからである。彼らは私、この生ける水の源泉を捨てて、自分たちのために水ため、水をためることがない壊れた水ためを掘ったのだ。

**①** 私たちは彼を飲まず、彼の増し加わりとならず、彼を表現せずに、イスラエルようになって、生ける水の源泉としての神を捨て、水ため(偶像を予表する)を掘って、私たちの享受としての神を置き換える可能性があります。

**②** 偶像とは、私たちの内側で、主以上に愛するすべてのもの、あるいは、私たちの生活の中で主を置き換えるすべてのものです。私たちは何を所有しても、さらには私たちが何であっても、それは偶像となり得ます。

**③** 私たちの平安、安全、健康、財産が、私たちの偶像となるかもしれません。しかし神は彼の定められた御旨において信実であるので、これらのものを取り去り、私たちが生ける水の源泉である彼から飲むようにします。神は信実であって、私たちが彼のエコノミーの中へと導きます。神のエコノミーとは、私たちがキリストを享受し、キリストを吸収し、キリストを飲み、キリストを食べ、キリストを消化して、神が私たちの中で増し加わり、彼を表現することです。【月】

**B.** 私たちは、キリストを私たちの享受として必要とするという認識に、戻されなければなりません。私たちはまた人を助けて、どのようにキリストを享受するかを知らせなければなりません。またそらされた信者たちを連れ戻し、彼らが単純になって、主イエス・キリストご自身の尊いパーソンを真に評価し、愛し、享受して、彼らの命またすべてとするようにしなければなりません:

II コリント 11:3 ところが、私が恐れるのは、蛇が悪巧みによってエバを欺いたように、あなたがたの思いが腐敗させられて、キリストに対する単純さと純潔を失いはしないかということです。

**①** キリストを私たちの命の供給として享受することは、召会生活の中で主要な事柄であるべきです。召会生活の内容は、キリストの享受にかかっています。私たちが彼を享受すればするほど、その内容はますます

豊かになります。

**②** コリント人への第一の手紙は、すべてを含むキリストの享受についての書です。命を与える霊としての、十字架につけられ復活したキリストを享受することは、召会の中のすべての問題を解決します。

I コリント 1:9 神は信実です。この方を通して、あなたがたは彼の御子、すなわち、私たちの主イエス・キリストの交わりへと召されたのです。【火】

**II. 私たちは羊の群れの模範となることによって、神の羊の群れを牧養しなければなりません。使徒パウロは、すべての信者(キリストのからだの肢体)の模範として、キリストを生きてキリストを大きく表現し、キリストの継続となりました:**

使徒 20:19 私はあらゆるへりくだりと涙をもって、またユダヤ人の陰謀によって私に降りかかった試練の中で、主に奴隷として仕えてきました。

20 また、益ある事は何でも、あなたがたに余すところなく言い表し、そして公にも、また家から家でも、あなたがたを教えてきました。

**A.** パウロはキリストの弟子であり、キリストを見て、キリストに聞き、イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学びました。

**B.** パウロはキリストの選びの器であって、彼を内容とし、彼で満たされ、彼をあふれ流し出して、彼の豊満となりました。

**C.** パウロは祈りの人でした。

**D.** パウロはからだに依り頼み、あらゆることをからだの中で、からだを通して、からだのために行ないました。

**E.** パウロは主の御名を呼び求めることを実行しました。【水】

**F.** パウロはすべてを含むイエスの霊(苦難のための満ちあふれる強さを持つ人の霊)によって生きました。それは彼の宣べ伝える務めのため、すなわち、人の命の中にあって人類の間で人類のために苦難を受ける務めのためであり、それはキリストのからだを建造するためでした。

**G.** パウロはミングリングされた霊(神の霊と人の霊がミングリングされて一となった霊)の中で生きました。

**H.** パウロは、本質上、彼の存在のために喜びの霊で満たされ、エコノミー上、彼の機能のために力の霊で満たされていました。

**I.** パウロは自分自身を訓練して、常に正しい純粋な良心を持ちました。

**J.** パウロはいつも主の中で喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝する生活をしました。

**K.** パウロは神と連合し、神によって支えられて、イエスの御名の中で大胆に福音を語り、イエスの証しを地の果てにまで拡大しました。

使徒 20:27 なぜなら私は、あなたがたに神のみこころをすべて、余すところなく言い表したからです。

28 あなたがた自身と群れ全体に気をつけなさい。聖霊は彼らの間に、あなたがたを監督として立てられ、神がご自身の血を通して獲得された神の召会を牧養させるのです。【木】

**L.** パウロはイエスの人性の中で聖徒たちをはぐくみ、キリストの神性の中で、神の永遠のエコノミーのすべての真理をもって彼らを養い、彼の生活の中で、「受けるよりは、与えるほうが幸いである」との主イエスの言葉を表しました。

**使徒 20:31** こういうわけで、私が三年の間、夜も昼も涙をもって、一人一人を絶えず訓戒してきたことを思い出して、目を覚ましていなさい。

**M.** パウロはエペソの長老たちの模範であり、長老が召会に対してどうあるべきかの模範でした：

①彼はあらゆるへりくだりと涙と試練をもって、主に奴隷として仕えました。

②彼は公にも、また家から家でも、聖徒たちを教えることによって彼らを牧養し、神のみこころをすべて、神の永遠のエコノミーをすべて彼らに言い表しました。

③彼は負担を持って、召会に対する神の尊い愛と、神の目に召会が尊く、超越した価値があることを長老たちが見て、神が尊んだように召会を尊ぶようにしました。彼は長老たちに勧告しました、「あなたがた自身と群れ全体に気をつけなさい。聖霊は彼らの間に、あなたがたを監督として立てられ、神がご自身の血を通して獲得された神の召会を牧養させるのです」(28 節)。

④彼は長老たちに、神聖な建造を破壊する者について警告しました。彼らはおおかみどもであって、羊の群れを容赦しない者、曲がった事柄を語って、弟子たちを引き離し、自分に従わせようとする者です。

⑤彼は聖徒たち一人一人と接触し、長老たちに、「三年の間、夜も昼も涙をもって、一人一人を絶えず訓戒してきたことを」思い出すように告げました(31 節)。

⑥パウロは、神の召しの唯一の目標がキリストのからだの建造であること、またキリストがからだによってからだを建造することを見たので、機能することでエペソの長老たちの模範であり、すべての聖徒たちを成就して、「その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせ(12 節)」しました。それは、すべての聖徒たちが彼らの命の度量にしたがって、命の中で成長し、命の中で機能して、命の供給となり、「からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至る(16 節)」ためです。

**エペソ 4:16** この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。【金】

**N.** パウロの四回目の務めの行程は、特別な方法で彼の生活、すなわち彼がキリストを生き、キリストを大きく表現し、キリストの中でいっさいの事柄を行ない、キリストを追い求めて、キリストの中に見いだされるという生活を見せています：

**ピリピ 1:19**…あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが

私にとって救いとなる…

**20** そこで、私の切なる期待と希望は、私がどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、私の体において大きく表現されることです。

**21** なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。

①使徒の長い、不幸な、監禁された航海の間中、主は使徒を主の超越性の中に保ち、思い煩いの領域をはるかに超えた生活をする事ができるようにしました。この生活は、完全に威厳があり、最高水準の人性の美德を伴っており、最も卓越した神聖な属性を表現しました。

②これは、神性によって豊かにされた人性の中で、再び地上で生きたイエスでした！これは、すばらしい、卓越した、奥義的な神・人であり、彼は福音書の中で生き、彼の多くの肢体の一人を通して、使徒行伝の中で生き続けました！これが、肉体と成り、十字架につけられ、復活し、神が高く上げたキリストの生ける証し人でした！

③パウロは彼の生活と務めの中で、真の神を表現しました。この真の神はイエス・キリストの中で、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活の過程を経過し、すべてを含む霊として、パウロの中で、彼を通して生きていました。

④嵐の海の上で、主は使徒を彼の航海仲間の主人とただだけでなく、彼らの命を保証する者、また慰める者としてしました。今や、平安の陸上で、主は彼をさらに進んで、迷信的な人々の目に魔術的な魅力のある者としてだけでなく、彼らのいやす者、喜びともしました。

⑤パウロがローマの兄弟たちから受けた温かい歓迎と、ポテオリの人たちの愛の関心は、初期の時代にあった諸召会と使徒たちとの間の、美しいからだの生活を見せています：

a. 外見上、使徒は、束縛の中の囚人として、サタンが占有した帝国の暗黒の首都の区域に入りました。実は、彼はキリストの大使として、彼の権威をもって、地上の神の王国の中で、キリストの召会のからだの生活のもう一つの部分にあずかっていたのです。

b. 彼はサタンの帝国(旧創造におけるサタンの大混乱)で宗教の迫害を受けていた間、神の王国(新創造のための神聖なエコノミー)の中で召会生活を享受していました。これは彼にとって、慰めであり励みでした。

⑥ 召会の究極的な結果は、未来の永遠における新エルサレムであり、神の完全な、永遠の表現です。これは、私たちが使徒パウロの模範に従うとき、今日すべての福音の宣べ伝えの実際と目標であるべきです—「大胆に、妨げられることなく、神の王国を宣べ伝え、主イエス・キリストについての事柄を教え続けた」(使 28:31)。【土】

## 経験①: 信実な神の訓練の御手に自分をゆだねる

私たちは主イエスを信じた時、平安と祝福を持つことを期待したかもしれませんが。しかしそれどころか多くの問題があり、私たちの安全、健康、財産を失ったかもしれません。あるクリスチャンはそのような事を経験するとき、神の信実を疑い、なぜ彼は困難が起こらないようにしてくださらないのかと尋ねるかもしれません。

困難を持たせるとき、神は彼の定められた御旨において信実であって、私たちを偶像から転向させ、ご自身に連れ戻されることを、私たちは認識する必要があります。私たちの平安、安全、健康、財産が、私たちの偶像となるかもしれません。神は信実であって、これらのものを取り去り、私たちが生ける水の源泉である彼から飲むようにされます。もし私たちの家や財産が偶像になるなら、私たちはそれらを飲むのであって、神を飲むのではありません。神の信実、これらの偶像を取り扱い、私たちに彼を飲ませるといふ事柄です。神は信実であって、私たちを彼のエコノミーの中へと導かれます。

### 新人編

**兄弟の証し:** 私は会社に勤め始めて 2 年目の時、不思議なことに神戸の小規模な会社からのヘッドハンティングで神戸に来ました。主の導きで、召会を興すために神戸に来たことははっきりしていたので、当然会社においても順調に行くだろうと考えていました。ところが会社に行くと、さまざまな困難に出くわしました。例えば私はヘッドハンティングで来ていたので、ポートアイランドの社長の所有のマンションに住まわせていただいていた。このことが原因で古参の社員から、嫉妬から来る激しい攻撃を受けました。また年齢が若いのに役員待遇であったので、この点も彼らの嫉妬を引き起こし、結局、左遷させられました。私は主に導かれて神戸に来たのに、なぜそのような環境が私の身の上で起こるのか理解できませんでした。このような不愉快な環境から抜け出すために、転職することを考えましたが、主が導いておられないように感じ、仕方なくその会社にとどまりました。不愉快な環境は増々ひどくなり、たびたび主に、「主よ、なぜこのような環境が私に降りかかってくるのですか」と尋ねました。しかし、私が期待しているような答えは何も主から得られませんでした。

これは後で分かったことですが、左遷させられた状況の中で、実は私は多くの事を学び、その後転職した会社でその経験が非常に活かされたのです。例えば生薬の製造現場で粉まみれになって作業している中で、生薬製剤の打錠(錠剤を作る製造工程)の問題を解決する秘訣を教えてくださいました。その経験は後で大手の会社に移った時、同様に生薬製剤の打錠の時の問題を誰も解決できませんでした。私はすぐに解決策を提案することができました。その当時は私の益のための主の訓練を理解できず苦しんでいましたが、主の御手の中で私にアレンジされた環境は、私にとって不足もなく過度でもなかったと証しすることができます。主の訓練は良く考えられた完璧なものでした。この経験はその後どのような環境が来ても自分を主の御手にゆだねることの学びになりました。ハレルヤ! 主を賛美します。次の御言葉を読んでください。

ヘブル 12:5 またあなたがたは、子たちに対するように、あなたがたに話された勸告を全く忘れていません。「わが子よ、主の取り扱いを軽んじてはならない。彼にことがめられる時、気落ちしてはならない。6 なぜなら、主は愛する者を取り扱い、受け入れるすべての子をむち打たれるからである」。7 あなたがたは耐え忍んで、取り扱いを受けなさい。神はあなたがたを、子として扱っておられるのです。父に取り扱われない子がいるのでしょうか?

10 肉の父は、自分の良いと思うようにしばらくの間、取り扱いましたが、霊の父は、益のために、私たちが彼の聖にあずかるようにと取り扱われるのです。11 どの取り扱いも、その時は喜ばしいこととは思われず、むしろ苦しいことと思われま。しかし、後になると、それによって訓練された者たちに、平安の義の実を結ばせます。

1 コリント 7:24 兄弟たちよ、各自は召された時の身分に、神と共にとどまっていなさい。

FN「神と共にとどまっていなさい」: 信者たちは召された後、外側の身分を変える必要はありません。ところが内側の状態は、変えられる必要があります。それは、神のない状態から、神と共にある状態にです。それは彼らがどのような身分にあっても、その中で神と一であり、神を彼らと共に持つためです。

祈り: 「おお主イエスよ、私は自分の真の必要を理解していませんが、あなたはご存知です。私は自分を父なる神の訓練にゆだねます。先ず、内側で主に戻り、主に開いて交わります。また、兄弟姉妹にも自分自身を開きます。私が苦難の中で神のエコノミーを見ることができるよう。アーメン!」。

## 経験②: 神のエコノミーを人生の目標とする

パウロはエペソの信者たちを教え、彼らの權益を顧み、彼らに益のある事を顧みるだけでなく、神のみこころ、神のご計画、神のエコノミーを言い表しました。疑いもなく、パウロはエペソ人に、神の新約エコノミーに関して多くを教えました。

同じように、すべての長老は、神の新約エコノミーが何であるかを学び、これを聖徒たちに指摘しなければなりません。神の永遠のエコノミーを知ることによって、聖徒たちの大部分は固く土台づけられ、深く根ざすでしょう。今日、ほとんどのクリスチャンは、善で、へりくだって、愛し、親切であるようにと教える浅薄な教えを受けています。…神の新約エコノミー、神の永遠のご計画、召会に対する神のご計画についての事柄は、完全に彼らの間で欠けています。ですから、私たちの間で必要とされるのは、神の永遠のエコノミーに関する正しい、聖書的で、神聖な啓示です。

長老たちは、神のエコノミーの事柄をすべて学び、その中へと飛び込まなければなりません。…彼らは神のエコノミーを告げることによって、失望した聖徒たちを慰めるでしょう。神のエコノミーを聞き、そのような高い召しを受けることは、失望した人たちにとって大きな慰めと励ましとなります。今日私たちが回復の中で直面している問題はおもに、神の永遠のエコノミーについての深い理解と認識に欠けることによります。

### 中高生/大学生編

あなたは神のエコノミーの成就のために救われたので、神のエコノミーがあなたの人生の目標であるべきです。次の詩歌を歌ってください。

もくてきのために、ひとはつくられた。  
手じゅんを経て主は、いのちあたえる。  
れいはうちに住む、すくい分けまえ。  
うちなる主により、主とおなじになる。  
さあ、はっきりビジョンを見よ～！  
みこころをすぐに実行しよう！  
うちがわは燃えて、エコノミー、あいす！  
霊 活ばつ つよく前進する！  
完成しよう！ God's goal！  
新エルサレム、ハレルヤ！

God has called us for His purpose,  
His economy so glorious,  
For which He was fully processed;  
Consummated now is He!  
As the Spirit, He indwells us;  
As our God allotted portion,  
Working out His full salvation,  
Making us the same as He is.  
Oh, may a clear, controlling vision of  
The Lord's economy direct my heart,  
And burn in me until my spirit's  
wholly set afire!  
With spirit strong and active we'll press on  
To consummate God's goal—  
New Jerusalem, Hallelujah!

あなたが学校で勉強したり、受験勉強したりすることの究極の目標は、神のエコノミーです。神はこのエコノミーのために、受肉、人間生活、死、復活のプロセスを経て命を与える霊となられました。命を与える霊はあなたの中に入り、あなたの霊を再生し、あなたを神の子供、キリストの兄弟、キリストのからだの一体体としました。今あなたは召会生活の中で、キリストのからだを建造するために、毎日キリストを享受し、キリストを人々に供給します。このようにしてキリストの団体的なからだは建造され、団体的にキリストを大きく表現し、サタンを辱めます。あなたが救われたのは低い目標、例えばあなたが良い生活をするためではありません。学生の時特に勉学においてキリストを知恵、力、忍耐力、暗記力などとして主観的に経験してください。あなたはただ成績を上げるために勉強するのではなく、勉強の中でキリストを獲得しているのです。

毎朝毎晩、神のエコノミーを実行するために、献身を更新してください。そうすれば必ず、あなたの前途は神のエコノミーのゆえに増々輝いたものとなります。

祈り：「おお主イエスよ、私が救われたのは、良い生活を享受するためではなく、神のエコノミーのためです。私には素晴らしい目標があることを感謝します。私の目を開き、更に神のエコノミーの栄光のビジョンを見させてください。神のエコノミーを推進するために、毎朝晩、献身を更新します。アーメン！」。

### 経験③：すべての兄弟姉妹が成就され、 自分に従ってではなく、神に従って牧養する

使徒行伝第20章28節で、「ご自身の血は」、召会に対する神の尊い愛と、神の目に召会が尊く、超越した価値があることを示しています。ここで使徒は、エペソ人への手紙第5章23節から32節でのように、召会の神聖

な命や性質に触れたのではなく、神にとつての宝、彼ご自身の尊い血をもって獲得された宝としての召会の価値に触れたのです。パウロは、監督としての長老たちが、神が尊んだように召会を尊ぶことを期待しました。

聖霊と神ご自身の血はいずれも、神が尊ばれる召会への神聖な備えです。聖霊は神ご自身であり、神ご自身の血は神のみわざを示します。神の贖いのみわざは、召会を獲得しました。今や神ご自身、すべてを含む命を与える霊は、監督たちを通して召会を顧みられます。

エペソ人への手紙第3章2節は神の恵みの執事職について語り、第4章12節はキリストのからだの建造について語っています。…神の恵みの執事職は、パウロや他の使徒たちに限定されていません。パウロはそのような執事であっても、あなたは違うと考えてはなりません。パウロのこの意図は、聖徒たちはみなキリストのからだの建造のために、神の恵みの執事職を受けたという事実を、彼らに印象づけることです。第4章12節によれば、からだの建造は使徒たちだけの働きではありません。それはすべての聖徒たちの責任です。彼らは成就されて、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至ります。この節の「へと至る」と訳されたギリシャ語はまた、「…の目的で」、「…をもくろんで」、「…という結果になる」を意味します。聖徒たちを成就することは、その務めの働きという結果になり、それはまたキリストのからだの建造という結果になります。からだは、使徒たちや他の導く者たちによって直接、建造されるのではなく、聖徒たちによって直接、建造されるのです。

### 青年在職/大学院生編

在職青年や大学院生の皆さんは、神に従って牧養することを学んでください。あなたは内側に再生された霊を持ち、外側に神の御言葉を持っています。福音友人や海辺の兄弟姉妹は、どのように御言葉を自分の実際的な状況に適用して励まされたらよいのか分かりません。彼らのために祈りのグループのメンバーと共に祈ってください。再生された霊を活用して新人のために祈り、交わる時、主はあなたに感覚を与え、導かれます。この導きに従って、あなたは出て行って訪問したり、LINEでメッセージを送ったりして牧養することができます。これが神に従って牧養することです。このように神に従って牧養するために、あなたは主と兄弟姉妹に対して開いている必要があります。開いていない人は、人の話を聞いても聞き流してしまいます。なぜなら自分の観念や好みが強いのので、主や兄弟姉妹の導きを受け入れることができないのです。オープン・マインドで召会生活の奉仕にあずかってください。

オープン・マインドは、仕事や研究についてもとても重要です。人の助けを受けるとは、実は時間を買うことです。オープン・マインドは他の人からアイデアや手法を学び、効率よくゴールに到達するのに必要なのです。主と交わる時、心を開いて観念から離れて交わることができれば、オープン・マインドの良い訓練となります。

祈り：「おお主イエスよ、私が正しく建造のために機能するために、私は成就される必要があります。私はあなたと私を導いている兄弟姉妹に開きます。自分の意見を降ろし、主の導きに開きます。私が自分の好みに従ってではなく、神に従って牧養することができますように」。